

1 活動名**心を込めて群読するために ～Jamboard の活用～****2 対象**

高等学園 1 学年の生徒

3 内容と取組の様子

- ・前時に録画した群読の映像を iPad のミラーリングで黒板に投影して、学級全員で振り返り、全体の動きや表現について確認を行いました。
- ・その様子を見て、生徒自身が気づいたことや感じたことを Google Workspace の「Jamboard」を用いて表現させた。そのアプリは、付箋機能を使って自分のコメントを投稿するもので、投稿した内容はリアルタイムで画面上に表われるため、生徒は他の生徒の考えをすぐに確認することができました。
- ・他の生徒の意見を見て、自分の考えをさらに深めた上で、再度自分の意見を投稿する生徒もいた。
- ・その後、教師が生徒の投稿した付箋をグループ分けし、整理し、生徒に改善が必要などころとして提示し共有しました。
- ・情報を共有後、全体の改善方法についてさらに同様の方法で話し合いを進めました。
- ・それぞれが心を込めて群読をするために各自が取り組むべき課題を発表しました。

**4 使用したツール(システム・アプリ・ソフト・教材等)**

プロジェクター, iPad

Google Workspace (①Google classroom, ③Jamboard)

5 おすすめポイント

- ・付箋に入力して投稿する作業によって、自分の意見を伝えることが苦手な生徒たちも自分の意見を積極的に伝えることができる。また、付箋を分類する過程が見える化されたり、試行錯誤という思考の共有をすることができる。
- ・これまでの授業では、アナログの付箋を使っていたが、その際の準備の手間が省ける。
- ・教師が付箋をまとめたり、書き込んだりする作業が簡単にできる。

6 さらに工夫したいこと

- ・生徒を少人数のグループ分けをして、考えや意見が発表しやすい環境を整え、話し合い活動を行っていきたい。
- ・生徒自身で投稿された意見をグループ分けし、整理できる力をつけることを改善していきたい。